



子どもと高齢者の居場所づくり、コラボして多世代交流……コミュニティ広場『すすかめ』



## 第18期 定期総会を終えて

会長 松尾 基昭

今般開催された定期総会において第17期活動報告、第18期活動方針をご承認いただき誠に有難うございました。総会での活発な質疑応答の中で、様々な貴重なご意見を拝聴いたしました。これも叱咤激励と受け止め18期の活動に反映させてまいります。

17期は、それまでの活動縮小傾向の懸念から「持続可能な仕組みづくり」をテーマに掲げて1年活動してきました。お陰様で会員皆様のご尽力もあり、充実した各活動の下、サークル数並びに会員在籍者数の増加に支えられ、一旦その縮小傾向に終止符を打つことが出来ました。

18期については、17期の実績を踏まえ、「持続可能な仕組みづくりの第2章」として、更に元気で楽しい充実した活動を目指していきます。又、活動の活発化・充実に伴い社会貢献のニーズも高まり、これも活動の支えとして注力していきます。

ただ、これらの継続的活動の要諦は人材です。倶楽部の推進役として共助の精神の下、世話役を引き受けてくださる方の積極的な参加をお待ちしております。

## 第 18 期定期総会報告

総務部長 中原 幹男

11月28日(木)松井公民館ホールにて定期総会が開催され、出席者65名のもと議事が進められ活発な質疑応答がなされました。冒頭では、29期修了生1名、30期修了生1名、一般1名の新入会者が紹介され、拍手で迎えられました。

### 第 17 期総括

松尾会長より17期総括を報告しました。「持続可能なしくみづくり」を表題に掲げ、会員数やサークルの減少という状況改善・課題解決に積極的に取り組みました。結果、前期のITサロンに続き謡曲・仕舞を楽しむ会が立ち上がり14サークルとなり、会員数も持ち直しました。関係者の多方面のご尽力のたまものです。当期は特に対外PRに積極的に取り組みました。地域情報紙やローカルテレビ、福祉関係、日本画院絵画展後援など、倶楽部の知名度アップ効果があったと思います。また、市民大学への情報提供にも積極的に取り組みました。引き続き、中原総務部長、野口事業部長、小田島広報部長の代理として総務部長が、各部活動を報告しました。

17期退任理事へ感謝の拍手が送られ、18期の理事・会計監査候補が満場の拍手で承認されました。

総会の第2部では、「所沢演芸会」ぎんちゃんの民謡、木村明美さんの昭和歌謡弾き語りを楽しみ、みんなで歌い、なごやかに終了しました。

### 第 18 期活動方針

松尾会長から18期の活動方針として、「持続可能な仕組みづくりに向けて第2章」のテーマと4つの活動目標が示されました。

1. 活動内容の維持・推進の継続
2. 市民大学との関係強化
3. 倶楽部の内外へのPRの推進
4. 社会貢献への取り組み

続いて、野口事業部長から事業活動計画案を、横山新広報部長から広報部活動計画案、中原総務部長から第18期予算案を提示しました。講師の選び方や事業の評価・反省と次へのつなげ方、市民大学修了生の有効な勧誘方法、事業の内外PRと集客、会則規定の周知などの活発な質疑応答が交わされたのち、すべての議案が満場の拍手をもって承認されました。

## 第 18 期 新体制

皆さまのご支援をよろしくお願いします。

\*未定の役職は、第1回の理事会にて決定します。

役職	氏名	推薦母体	役職	氏名	推薦母体
会長	松尾 基昭	アジア研究会	理事	高橋 信行	ドラカン
副会長事業部長	野口 喜美夫	謡曲・仕舞を楽しむ会	理事	内川 賢治	懐かしの映画
副会長広報部長	横山 芳江	所沢の自然と農業	理事	安田 好子	脳活サークル
副会長総務部長	中原 幹男	理事会推薦	理事	石堂 智士	傍聴席
総務部会計	大西 優	地域デビュー支援	理事	根岸 順子	民話の会
総務部会計	羽生 睦子	理事会推薦	理事	堀 倫邦	理事会推薦
理事	岡部 まさ子	食トコ	理事	大木 美和子	理事会推薦
理事	鹿嶋 伸郎	楽悠クラブ	理事	西田 尚美	理事会推薦
理事	芝間 伸剛	地球環境	会計監査	木下 みえこ	理事会推薦
理事	茂出木 正和	野老澤の歴史	会計監査	田口 元也	理事会推薦

退任理事：小田島禮子、原田一成、鈴木安弘、川上紀春、田淵喜代子、岡崎久子 <お疲れ様でした>

## 第18期 事業部活動方針

事業部長 野口 喜美夫

前期は当初予定していた活動計画を全てこなすが出来ました。

活動に携わり、ご協力頂いた皆さま方に改めて感謝します。誠に有難うございました。

今季は春のイベント、文芸講座、時局講演会、ところざわ倶楽部まつりについて、今まで以上に参加した方々が元気になれ、楽しめる行事を企画・運営したいと思います。

それを実現するために、今までの進め方から一步前に踏み出して事業部担当の理事の皆さんと、動員を含めた様々な情報と意見を収集し、討議を重ねて実行に努めたいと思います。つきましては、今年度も皆様のご支援・ご協力をお願い致します。

今期の活動計画を以下のように考えています。

- (1) 春のイベント → 参加者が元気をもらえ、楽しめる行事を企画・検討中

- (2) 文芸講座 → テーマ、講師を選別して複数回の開催を予定
- (3) 時局講演会 → その時のニーズにマッチしたテーマと講師を検討
- (4) ところざわ倶楽部まつり → 年に一度の各サークルの活動の集大成とし、舞台部門と展示部門で開催



## 第18期 広報部活動方針

広報部長 横山 芳江

### 1. 活動方針

ところざわ倶楽部の理念である

- 1) 学習活動の継続 2) 会員相互の親睦と情報交換
  - 3) 学びを地域に活かす 4) ネットワーク作り
- を念頭に、質の高い情報の発信を目指します。

### 2. 編集体制の充実と強化

17期は、体制の刷新を考慮してやってきましたが、18期は新たなシリーズを発信していきたい。

編集委員のスキルアップを図ることも大事なことです。時に応じて最新の編集技術やAIの活用を学び、編集体制の価値を高めていきます。

### 3. 広報誌「広場」の方向と方針

原則として、従来どおりの8ページ構成の月刊紙として発行し、市民大学受講生や各町づくりセンター、コミュニティーセンター、野老澤町造商店などに配布を継続していきます。ところざわ倶楽部ホームページに「広場」のデジタル版を掲載しています。オンラインでの観覧やダウンロードが可能になっていますので、会員の皆様の利用を期待しています。

### 4. ホームページ

常に更新を行い、内容は増々充実しています。双方向の情報発信のツールですので会員の皆様からの情報と投稿、掲示板への発信をお待ちしています。

### 【第18期 編集委員】

氏名	担当
松尾 基昭	会長、発行責任者
横山 芳江	広報部長
中原 幹男	総務部長
野口喜美夫	事業部長
玉上 佳彦	顧問・HP担当
川上 紀春	企画編集
梅津 博紀	企画編集
大木 美和子	企画編集
岩瀬 真弓	企画編集
稲村 洋二	企画編集
新井 智子	企画編集
文平 あつ子	企画編集
鈴木 安弘	企画編集
松原 恵子	企画編集



## 特別寄稿

## ウクライナ訪問記

笠松 泰洋

戦時下の国を訪問する、というのは、普通ではないことであり、推奨するべきことでもない。現在もウクライナは日本の外務省からは、危険ランク4、即座に退避する地域、とされている。そのウクライナから招かれた。

私が作曲したオペラ「人魚姫」の上演が決まったので、そのプレミア（初日）に立ち会って欲しい、という依頼だった。ウクライナ西部の古都、リヴィウの、リヴィウナショナルオペラからの依頼だった。

ロシアのウクライナ侵攻により、戦争と文化についていろいろ考えるようになった。モーツァルトがオペラを作ったのも、戦時下だということを知った。ハプスブルク帝国の皇帝、ヨーゼフ2世は、モーツァルトに「こんな時こそ、民の心を明るくする朗らかなオペラを」と新作を依頼したのである。少なくとも西洋音楽が発達する17世紀から20世紀は、ヨーロッパはほとんどいつでも戦争や内戦があった。人生の中でペストにも戦争にも遭わずに済んだ作曲家はほとんどいなかったのだ。それに気がついて、そのような中で人々は音楽に何を求め、作曲家は作曲に何を込めるのか、とても知りたくなった。

ワルシャワまで飛行機で行き、空港にオペラ座の人が車で迎えに来てくれた。車で走ると、ポーランドは延々と森、または平原が続く。国境にはいかめしいゲートはあるが、ただの地続きである。そして国境から60キロほどで目指すリヴィウに入った。ずっと田園地帯だったが、一気に都市になった。市内に入ると、車は渋滞して、あふれんばかりの人がいた。夕方のラッシュアワーだった。大きなショッピングセンターがあり、様々な店が軒を連ね、ごった返す街には戦争の匂いは全くなかった。

市の中心に125年の歴史を誇るオペラハウスがあった。歴史的な建造物で、まさにヨーロッパの建築物だ。高い位置に大きなポスターが3つ貼られていて、真ん中が「人魚姫」だった。建物の前では、中学生くらいの30人くらいの集団が記念撮影をしていた。北朝鮮の兵士が戦争に参戦した、というニュースがあったところなので、東洋人は警戒されるかと思っていたが、そんな様子は拍子抜けするくらいなかった。しかし、街で東洋人は全く見なかった。珍しい東洋人はその子供達に取り囲まれて、英語でWhere are you from?と話しかけられ、from Japan、と答えると大喜び。一緒に写真を撮った。

翌日、いよいよリハーサルに立ち会った。今回のオペラはオペラ座の大ホールではなかった。新設されたばかりの、新しい作品に挑戦する「マリョルカ」という場の柿落としに、私の「人魚姫」が選ばれたのだった。何と言う名誉だろう。私の全く知らない人たちが、照明、美術、衣装、舞台監督などそれぞれのチームで、忙しく立ち回っていた。全員が、オペラの各分野に特化したプロである。

指揮者、副指揮者、伴奏ピアニストを含め、30人以上の人が自分のオペラのためにすごい熱量で働いている。それだけで胸が熱くなった。

劇場の総監督であるヴォヴン氏や、空港から半日以上の上の車の旅を共にしたオスタップ氏、そして、1日目の練習の指揮をしてくれたまだ若い副指揮者アンドリンからは、ロシアの侵攻後に劇場が停止してから、再開されるまでの話を聞いた。やろうと思う有志を集め、何とか数ヶ月ぶりに劇場を開けたら、満員のお客が集まり、すごい熱気と感動が溢れ、劇場関係者は、こんな時だからこそアートは必要なのだと意を強くして、本格始動に力を注ぎ、それは果たされ、国からの補助は減ったけれど、お客様、協力者のお陰で、劇場はしっかりと通常通りの運営がなされている、とのことだった。

終演後は、ゲネプロに集まった劇場関係者や評論家、作曲家からいろいろな言葉をもらった。それはその翌々日の初日も同じだった。とても熱い迎えられ方をした。

そしてこの作品は今後、ずっとオペラ座の財産として演奏されていくものになった。レパートリーの中に入ったのだった。君はウクライナの歴史の一部になったのだ、と言われた。オペラ座の上演予定にモーツァルトのオペラと自分の作品が並んでいると、自分も街の一部になれた気がした。次の作品と一緒に作ろう、というお話まで頂いた。たまたま私のオペラの初日の11月3日は、アメリカ大統領選挙の日だった。リヴィウの人々は、口には出さないが、戦争を早く終結させることを公言しているトランプをむしろ望んでいるような気がした。早く戦争を終わらせ、戦死する人がいなくなり、徴兵されることがなくなることを望んでいるのではないだろうか。

しかし、一方で、ロシアに対する嫌悪感は、誰もが口にした。長いソビエト時代、特にスターリン時代のウクライナの被った理不尽な扱いに対する根深い嫌悪感があるように思えた。指揮をしてくれたユーリンの祖母は北方領土の島に住んでいた、と話してくれた。開拓民としての強制移住でウクライナから行ったということだった。平和な住宅地にミサイルを打ち込む狂気にさらされつつも、極めて普通に生きている、または生きようとしている街、リヴィウだった。

5日の早朝に列車でリヴィウを出た。国境を超えてポーランドに入ると、もう列車がドローンや砲撃で狙われることはない。国境線一本で仕切られているだけなのに。

車窓の風景は全く同じなのだ。地平線の広がる果てまで続く大地のどこまでをどの民族のものとするか、という争いは、結局今も続いている。宗教の違い、民族の違い、というだけで。しかし、音楽をすれば、日本人もウクライナ人もなかった。やはり、それこそが、音楽を戦時でも大切にしようという根幹ではないだろうか。

## 「広場」川柳 100 回を記念して・・・



「広場」川柳 100 回を迎えられました。これまで来られたのは、川柳に興味をもたれ投句された皆様のお陰です。選者を務めさせて頂き有り難うございました。これを機会に今までの経過と、改めて川柳についてまとめて見ました。

中島 峯生

さかのぼると約 8 年前になると思います。

ところざわ倶楽部広報紙「広場」の編集にあたり、当時編集委員の池田新八郎さんの発案で俳句の隣に川柳の作品欄を設けて貰いました。当初は、川柳の会に属されている方も多勢で、応募される句も投稿も多く、選択に苦労しました。特に亡くなられた島川謙二氏が熱心に勉強され、所沢川柳連盟主催の川柳大会にも参加されました。その後、連盟に加入した川柳会も会員の減少により現在は 2、3 に減り、所沢川柳連盟は活動を止めております。願法みつる連盟会長は所沢市発行の「文芸所沢」の主幹も務めておられ、初めて投句された方には手紙でご指導頂けます。また、各公民館等主催の講習会などでも講師を務めておられます。私も小手指メンズクラブで川柳の勉強会が実施され、その後「川柳遊ぼう会」として会を作り、現在は 4 人ですが月一度の勉強句会をメールにて実施しております。この会も所沢川柳連盟に属していました。

そうした背景を元に、「広場」川柳も 100 回を迎えることが出来ました。もちろん、皆様からの熱心な作品の応募を得たおかげと感謝しております。また 100 回を踏み台に「広場」の楽しい投稿欄として活躍してください。

「広場」はメールを通しての勉強なので、不十分で有り納得出来ない場合も有るかと思いますが、ここまで来られました。100 回を踏み台に、新選者の詔笛さんのご指導で、更に多くの投句者が仲間に加わり長く続けていただけるよう希望しております。

この間、デイサービスで川柳を教えることが有り、そのとき、詠んで頂いた生徒さんの代表句

「ハイタッチ息子六十母九十」ステキな親（北野）

駅で出合った場面とのことです。高齢でも素敵なお親子の関係を非常に上手く詠んでいます。これは所沢市広報紙「ところざわ」2017年4月（NO.1141）みんなの広場に掲載されました。



## 川柳に感心をもたれて居るかたへ



サラリーマン川柳、シルバー川柳等は同じ立場として詠んだ句になりますので相応に楽しく読んでください。時事川柳はその時点での出来事を読みます。ここでは「文芸」としての作品対象になります。

川柳は俳句と違いその約束ごとが知られていませんので紹介を致します。簡単です是非詠んで投句をしてください。

5、7、5・「上5」「中7」「下5」の17音字（例えばひゃくは二音字）で句は成り立っております。文語体でなく口語体で、自然ではなく人間のしぐさを詠む、俳句の「季語」は必要ない。「かな、なり等」の切字は使わない。文章を短結するため名詞止めがよい。標語にならない様にする。川柳の三要素として、穿ち、軽み、滑稽がある。選者は「選評」として掲載された句の良いところを述べて参考にして貰います。メールによる句会になります。作者は柳名を使います。

以上

## サークル活動報告

## 「地域デビュー」で元気を取りもどそう



所沢シニア世代地域デビュー支援の会 田口 元也



所沢市市民活動支援センターの「地域デビュー講座」(10月29日、中央公民館)でこれまでの体験を語ってほしいとのオファーがありました。テーマは『まちの魅力、人の魅力』で、地域での活動のきっかけや活動にはどのようなものがあるかなど、「地域デビュー」の基礎を学ぶ講座でした。ただいま活動といえば「サロン化」したほぼ会員だけの定例会、いったい何を語ろうか悩んだ末、「地域デビュー支援の会」を設立するきっかけとなった活動の経緯を紹介することにしました。市の広報紙や公民館など公共施設に出かけての情報収集、図書館ボランティア、市民学芸、

福祉課の見守り相談、市民大学入学、修了後の本サークルの立ち上げ、そして、ところざわ倶楽部の加盟に至るまでをお話しました。

10年前、「元気高齢者の社会参加で元気なまちづくり」を呼びかけて立ち上げた「地域デビュー支援の会」、発足のころの思い出がきっかけとなって一大奮起、11月6日(水)、しばらくぶりに「市政ひよこ塾」で農業振興課の職員のみなさんを講師に出前講座を開催して「所沢の農業の現状と農業振興」についての学習を行い、農業におけるシニア世代の「地域デビュー」のきっかけを探りました。

## みんなの広場

## 私のこだわり(第2弾)



地球環境に学ぶ 芝間 伸剛

内窓を開放



内窓を閉鎖



皆さんの中には覚えている方がいるかもしれませんが、昨年の広場2月号「みんなの広場」に「私のこだわり～わが家の階段寸法～」について寄稿しました。今回は「私のこだわり」第2弾、家の「断熱」です。

以前住んでいた家は、断熱材は入れていたのですがその断熱性能が低く、特に冬場の暖房時は結露がはなはだしい状態でした。新たに住み替えた家は、最新住宅技術の断熱性能を向上させたZEH(ゼロエネルギー住宅)方式にし、さらに冷暖房効率を高めようともう1段の断熱性能向上にチャレンジしました。

具体的には、外気に面するサッシを2重窓式にしたことです。家全体を2重窓にすると費用も大分かさみますので、一番長い時間を過ごす居間限定で採用しました。既設の窓の内側に新たに3層ガラスのサッシを

取り付けました。工事は2人のサッシ工が4時間ほどで完了。部屋内側にサッシを取り付けるため、若干威圧感はありましたが、今では慣れました。

工事費は約80万円ほどでしたが、国からの補助金と所沢市からの補助金があり、実質的には半額ほどの支出で済みました。まだ実際の断熱性能がどの程度向上したのか確認出来てはいませんが、これからしっかりとデータを取ってみようと思います。

# サークル活動計画

## 興味のある活動に参加してみませんか？

<p><b>1. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)</b></p> <p>12月11日(水)13:30～16:00 中央公民館 8・9号室 テーマ：笠松先生 ウクライナ公演報告会</p> <p>1月22日(水)13:30～16:00 中央公民館 8・9号室 テーマ：第2次トランプ政権の今後の世界情勢に関するフリーディスカッション(仮)</p>	<p><b>8. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)</b></p> <p>12月7日(土)10:00～12:00 新所沢東公民館研修室2号 シェイクスピア原作「ヘンリー6世」朗読(続き) 例会後懇親会(ランチ)</p> <p>12月21日(土)10:00～12:00 中央公民館学習室3号 「ヘンリー6世」朗読続き</p>
<p><b>2. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)</b></p> <p>12月3日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9学習室 楽悠クラブ総会「決算報告・次年度鑑賞演目決定」60分 鑑賞演目「フォークソング、その他を楽しむ」120分</p> <p>1月7日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9学習室 鑑賞演目 ヴェルディ歌劇「仮面舞踏会」約2時間 レヴァイン指揮,メトロポリタン歌劇場</p>	<p><b>9. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)</b></p> <p>12月10日(火)10:00～12:30 西新井町会館 邦画「老後の資金ありません」草笛 主演 (21年 91分) ⇒年末最後の上映会・来年の上映計画・イベントの紹介</p> <p>1月21日(火)10:00～12:30 西新井町会館 邦画「急行列車」列車シリーズ 渥美清 90分 ⇒1月23日(火) 新春上映会 / イベント： 繭玉飾り</p>
<p><b>3. 食を通して所沢を知る会 (矢崎 みどり 2943-4250)</b></p> <p>12月3日(火)10:00～ ふらっと 来年度の活動計画話し合い</p> <p>12月10日(火) 忘年会</p>	<p><b>10. 脳活サークル (野口 喜美夫 090-8054-3317)</b></p> <p>12月16日(月)12:00～ 「今年度を振り返っての雑談とランチ会」 市内飲食店利用</p> <p>1月20日(月)13:30～ 中央公民館にて 皆で正月気分を 楽しみましょう 「百人一首かるた体験会」を開催</p>
<p><b>4. 地球環境に学ぶ (芝間 伸剛 080-5453-0117)</b></p> <p>12月24日(火)9:00～11:30 新所沢東公民館 月例会 12月度の読書会の日程は未定</p> <p>1月28日(火)9:00～11:30 新所沢東公民館 月例会 1月度の読書会の日程は未定</p>	<p><b>11. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)</b></p> <p>12月16日(月)14:00～16:00 新所沢東公民館 研修室1号 テーマ：「まちづくりセンター条例制定」の学習会 ～市議会だよりNo212 からなぜ賛否が分かれたのか</p> <p>1月20日(月) 総会予定ほか</p>
<p><b>5. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)</b></p> <p>12月11日(水)13:15～15:00 中央公民館 1階 学習室3号 定例会 ロングテーマ「100歳時代をどう生きる？」 出前講座「所沢の農業の現状と農業振興政策」の「振り返り」</p> <p>&lt;SP/スマイルパイレーツ練習日&gt; 見学大歓迎！</p> <p>12月14日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター多目的室</p>	<p><b>12. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)</b></p> <p>12月20日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館 多目的室1号 定例会</p> <p>18期1～6月 月別活動計画の確認と、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 民話二篇創作の、たたき台の提案者確認</li> <li>2) 「第4回民話由来地巡り」の計画担当者の確認</li> </ol> <p>1月17日(金) こどもと福祉の未来館予定 定例会</p>
<p><b>6. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)</b></p> <p>12月12日(木)13:00～15:00 新所沢公民館学習室1号 定例会</p> <p>12月17日(火)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア</p> <p>12月20日(金)9:30～11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア</p> <p>12月22日(日)9:00～12:00 陽子ファーム枯れ枝拾い</p>	<p><b>13. ITサロン (ところざわ倶楽部) (玉上 佳彦 090-2497-1076)</b></p> <p>12月13日(金)13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号</p> <p>12月20日(金)13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号</p> <p>1月8日(水) 13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号</p> <p>1月27日(月)13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号</p>
<p><b>7. 野老澤の歴史をたのしむ会 (佐野 喜代子 2925-4144)</b></p> <p>12月5日(木) 造幣局埼玉支局見学会 9:00新秋津駅集合 武蔵野 線経由 造幣局埼玉支局工場および博物館の見学 日本の貨幣制 度の歴史と貨幣流通の現状を学ぶ</p> <p>12月12日(木) 第15期定期総会・納会 13:30生涯学習推進セン ター 17:00むらやま (総会)15期総括および16期計画の承認、 次年度活動計画のグループ担当の決定</p>	<p><b>14. 謡曲・仕舞を楽しむ会 (野口 喜美夫 090-8054-3317)</b></p> <p>12月3日(火)9:30～12:00 中央公民館 学習室8・9号</p> <p>12月17日(火)9:30～12:00 中央公民館 学習室8・9号</p> <p>1月7日(火)9:30～12:00 中央公民館 学習室8・9号</p> <p>1月21日(火)9:30～12:00 中央公民館 学習室8・9号 観世流 謡曲と仕舞の稽古・練習を行います。</p>

川柳 (100)号 作品発表 選 中島峯生

課題「百」



百歳をめざしているが薬漬け  
悪ガキに百貫デブとからかわれ  
百までも持ちこたえたい足と腰  
いくつなの聞かれたら百歳と

突拍子  
縄文人  
りんご好き  
海さとり

Aーに川柳頼む課題百  
人の世の百色地球燦然と  
夢を追う百歳までもチアダンス  
百回の広場川柳お目出度い

詔 笛  
詔 笛  
詔 笛  
詔 笛

延び縮み百取り虫は前に行く  
バラの花百万本で歌になる  
リハビリに流れるリズムあのマーチ  
お元氣な彼女は笑い近い百

峯 声  
峯 声  
峯 声  
峯 声

次回(第101回) 課題「保存」そして「自由題」  
締め切り...12月20日 担当...岡本まで、どなたでも

宛先 okamotoh@gmail.com

理事会報告

総務部長 中原幹男

11月11日(月)第11回理事会を開催しました。

- ・18期定期総会の議案書を作成するにあたり、17期で退任する理事・監事6名と、18期理事候補3名が紹介されました。(総会にて承認)
- ・会長、事業部、広報部、総務部より17期活動報告(案)と18期活動方針(案)を説明しました。
- ・18期に向けて、各サークルに年会費・広場郵送費の集金開始をお願いしました。無所属会員へは、総会終了後総会資料と会費振替票を郵送しますので、ゆうちょにてできるだけ年内中に手続きをお願いします。
- ・第30期市民大学修了生を中心に倶楽部への入会受付を開始しています。お知り合いへの勧誘、呼びかけをお願いします。

笠松泰洋先生 帰国報告会のお知らせ

日時 12月11日(水) 14:00~16:00  
会場 中央公民館学習室8・9号

講師 作曲家 笠松泰洋氏  
テーマ:「念願のウクライナでの公演実現」

~2度の延期を乗り越えて~

主催 アジア研究会  
お申込み(先着順50名)

**満員御礼**

編集者から



今年も早いもので、もう師走。年齢を重ねたせい、かの時の過ぎるのがとても早く感じる。この夏があまりに暑くて長かったせいで秋もひとつ飛びで冬の到来です。

最近何故か子供の頃の事ばかり思い出す。育ったところが横田基地のある町の福生だったからか、12月になると街の花屋の店先に大きなモミの木が並ぶ。毎年、父が背丈ほどもあるモミの木を担いで買ってくると、そのモミの木に三姉妹でキャッキヤ言いながら飾り付けをした。ツリーの下回りには父母が子供達へのプレゼントを置いてくれた。楽しくて、綺麗で、嬉しかったクリスマスの思い出。 岩瀬真弓:記